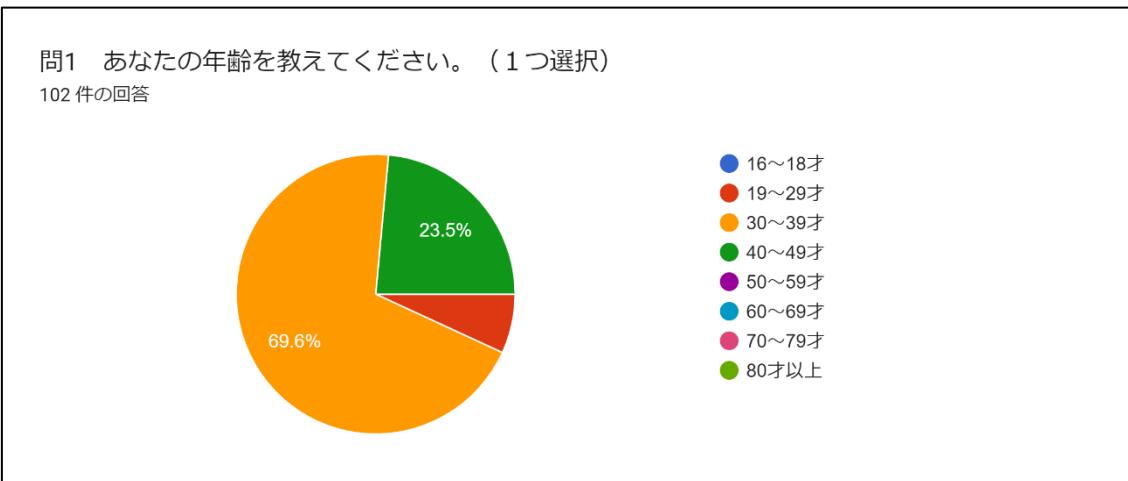


地域福祉活動計画策定についてのアンケート（子育て世帯用）回答から見えた上市町の現状と今後の展望

第4次の活動計画の策定では、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた地区懇談会の実施がかなわずアンケート調査に切り替えさせていただきました。

アンケートは590部配布しインターネットより102名の回答がありました。



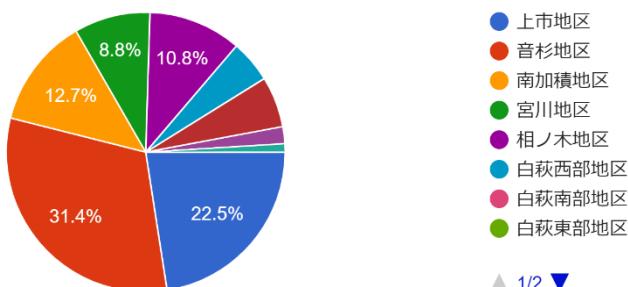
【考察】

回答者の69.6%が30~39才、23.5%が40~49才、6.9%が19~29才となった。

30代の方の回答が一番多い。

問2 お住まいの地区を教えてください。 (1つ選択)

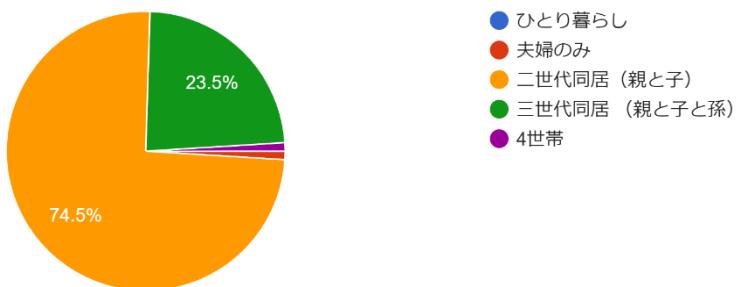
102件の回答



▲ 1/2 ▼

問3 家族構成を教えてください。 (1つ選択)

102件の回答

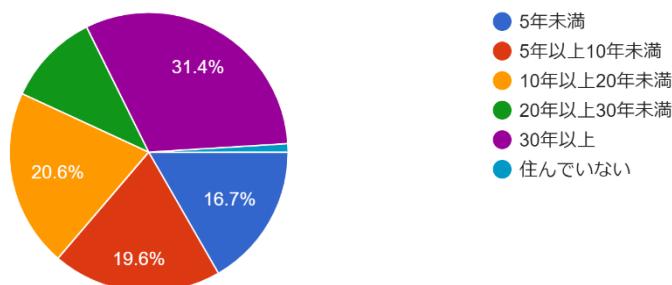


【考察】

75%が親と子の家族構成となっており、いわゆる核家族が多くなっている。

問4 あなたは上市町に住んで通算何年になりますか。 (1つ選択)

102件の回答

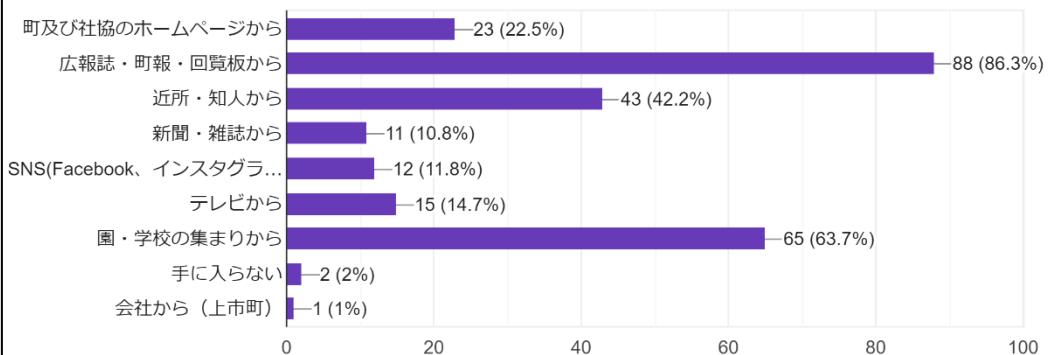


【考察】

30年以上住んでいる人の選択肢が一番多いものの、他の年数も満遍なくみられることから地域のことをよく知っている人だけでなく、新たな意見が入ってくる状況でもあることが窺える。

問5 あなたは福祉に関する情報をどこで手に入れてていますか。 (あてはまるものすべて選択)

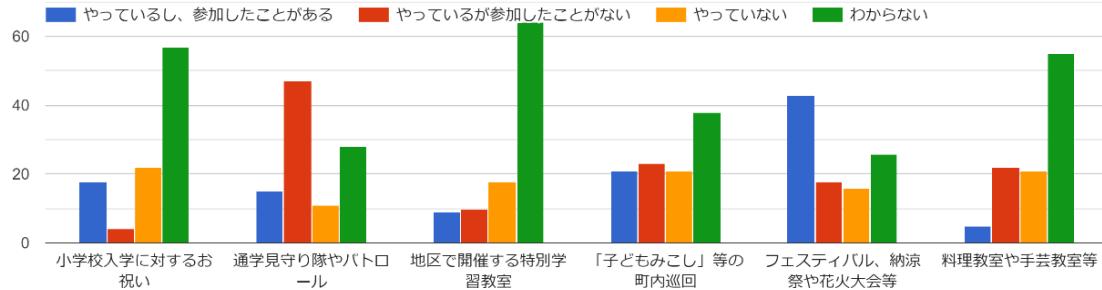
102件の回答



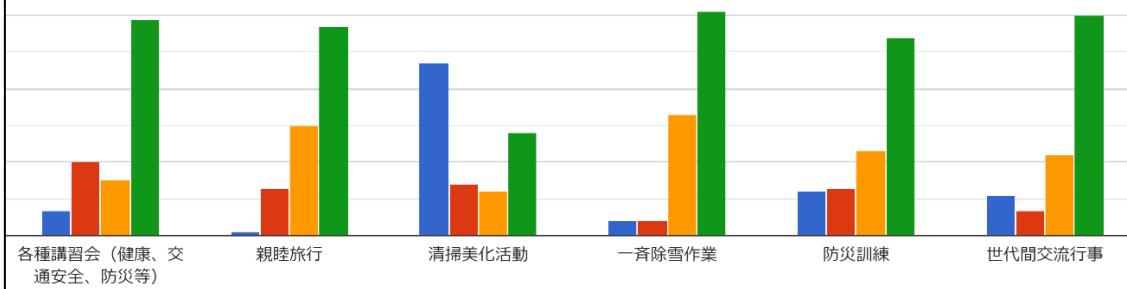
【考察】

福祉に関する情報は広報誌・町報・回覧板から手に入る人が一番多かった。次いで園や学校からの情報入手が多く、子どもの所属する環境が親同士のコミュニケーションの場でもあることが窺える。

問6 あなたの地区（町内会等）では幼児・児童（～18才）に対してどのような活動や行事をおこなっていますか。ま



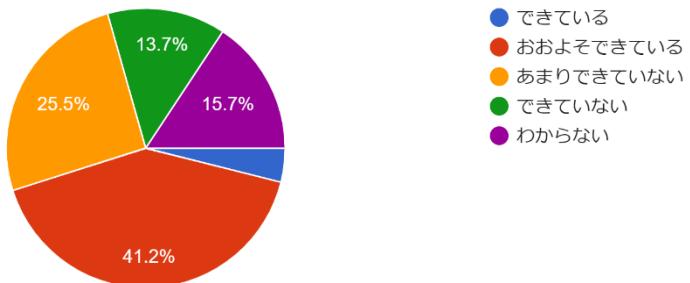
た、参加したことはありますか。（行内であてはまるものを選択）



【考察】

「通学見守り隊や安全パトロール」、「フェスティバル、納涼祭や花火大会等」、「清掃美化活動」を除き、町内会での幼児・児童向けの活動に対して「やっていない」ではなく「わからない」という意見が多かった。活動が周知されていない可能性もある。町内ごとの行事と認知度を比較する必要がある。

問7 あなたは地区で子育てや見守りの支えあいができると感じていますか。 (1つ選択)
102件の回答



問8 問7でそう思った理由を教えてください。(記述式)
～自由記述77件のため省略～

【考察】

地区での支えあいに関して、できている・おおよそできているとの回答が約 66% あった。

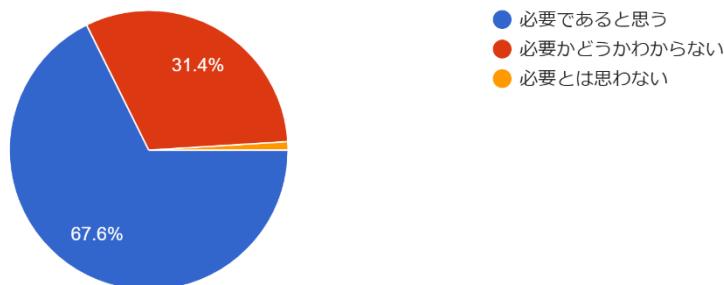
問8で特に多かった意見では「登校時や散歩時に声を掛けてくれる人がいる」、「見守りやパトロールの人がいる」といった意見が多く、声かけや見守りを通して支えあいを実感している人が多いことが窺える。

また、環境的な要因として「分譲地で似たような家族構成の家庭が多い」との意見もあったため、居住地域による支えあいがあることが分かる。

一方で支えあいを感じられない理由としては「周囲の人と話す機会がない」、「近所づきあいがないから」といった意見が多くみられた。「見守る人がいない」との意見もあり、地域や通学路によって見守りの温度差があることが窺える。

問9 あなたは地区のサロン活動や見守り活動についてどう思いますか (1つ選択)

102件の回答

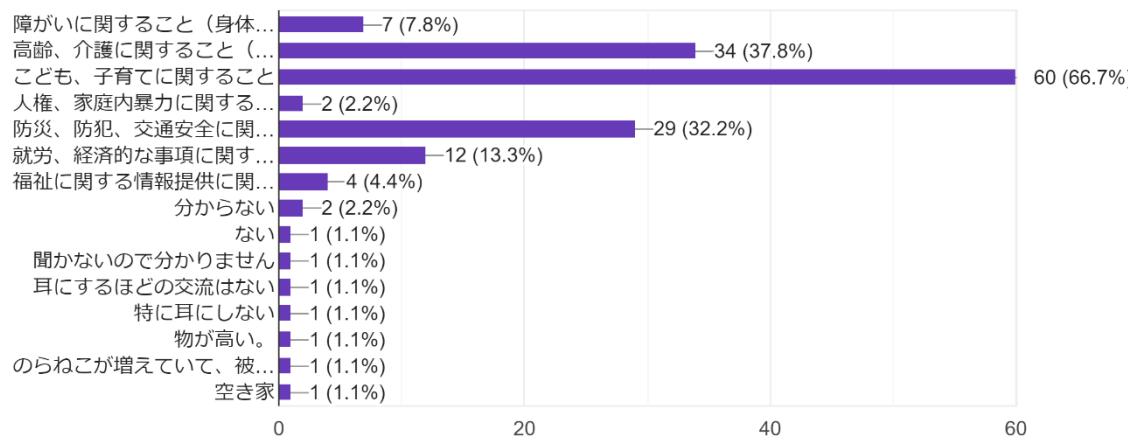


【考察】

必要であると思うという人が 67.6% を占めていることから「サロン活動」や「見守り活動」は地域に定着してきていると考えられるが、他アンケートと比べて数値が低いことから一部で「サロン活動」についての理解が得られていない部分もあると推測される。

問10 あなたの地区で生活の困りごとについて、…うなことですか。 (あてはまるものすべて選択)

90件の回答

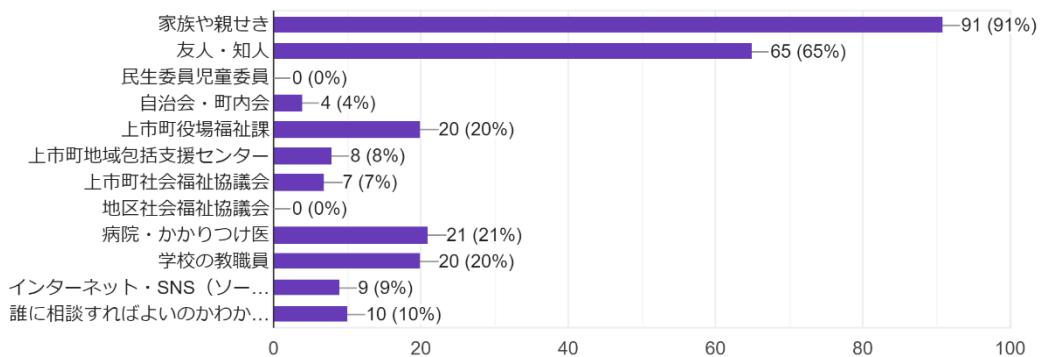


【考察】

子育てに関することが最も多くなっている。次いで高齢、介護に関することと続き、自身の子育てのことだけでなく、親や親族の介護についても耳にしていることが窺える。

問11 あなたが地区で日常生活を送るうえで、心...に相談しますか。 (あてはまるものすべて選択)

100 件の回答



【考察】

「家族や親せき」、「友人・知人」に相談が多く、「民生児童委員」への相談がないことから、心配ごとを外部に出すことを好まない風潮があることが推測される。
社会福祉協議会も相談窓口として利用されることは少ないと分かることで、相談窓口の周知や相談しやすい体制を作っていくことが求められる。

問12 あなたは日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。 (1つ選択)

102 件の回答

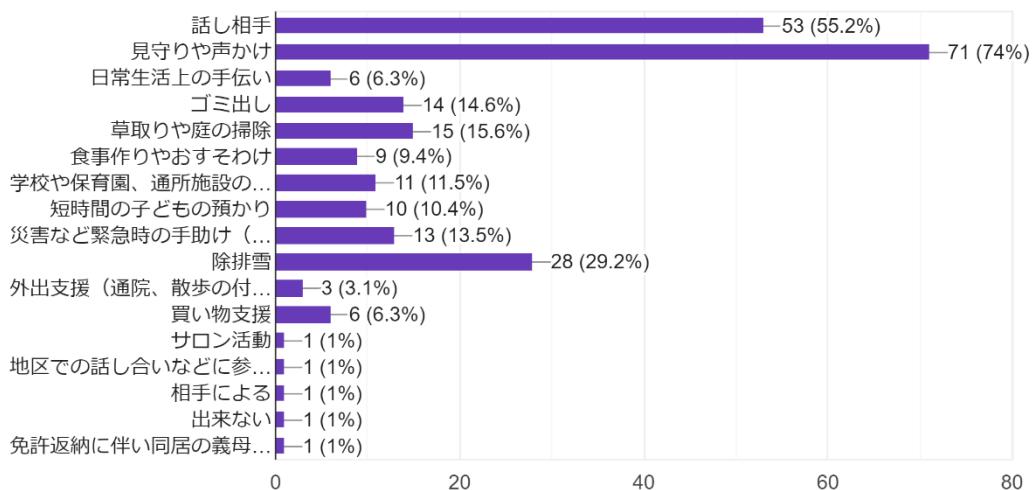


【考察】

「住民と行政と社会福祉協議会の協働で解決したい」の回答が一番多く、住民同士での解決以外の選択肢は 68.7% になった。課題の内容にもよるが、前述問11と比較すると相談ごとは外部に出さないが、解決するために本当は他の人にも協力してほしいという潜在的ニーズがあることが推測される。

問13 あなたの地区で日常生活を送るうえで心配な方や困っている方がいたら、あなた自身できることは何ですか。 (あてはまるものすべて選択)

96件の回答

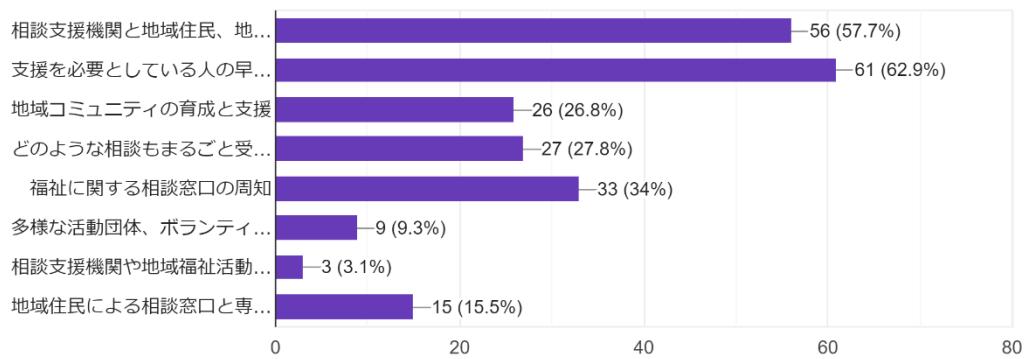


【考察】

「見守りや声かけ」に次いで「話し相手」が多く、身近なかかわりでの手助けが可能だということが窺える。

問14 あなたは一つの相談支援機関だけでは解決...づくりが必要だと思いますか。 (3つまで選択)

97件の回答

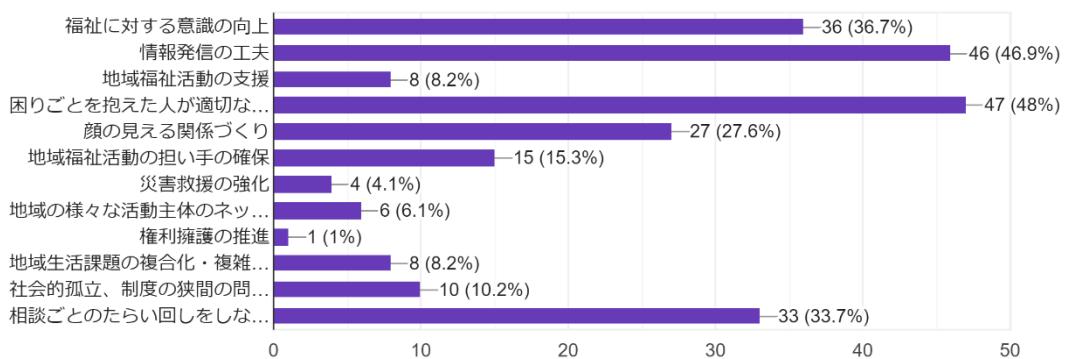


【考察】

「支援が必要な人の早期把握」が多く、次いで「相談支援機関と住民、地域関係者との連携」が多かった。このことから、支援のために相談しやすい仕組みづくりが求められていることが窺える。

問15 誰もが住みやすいまちづくりを推進していくべきだと思いますか。（3つまで選択）

98件の回答

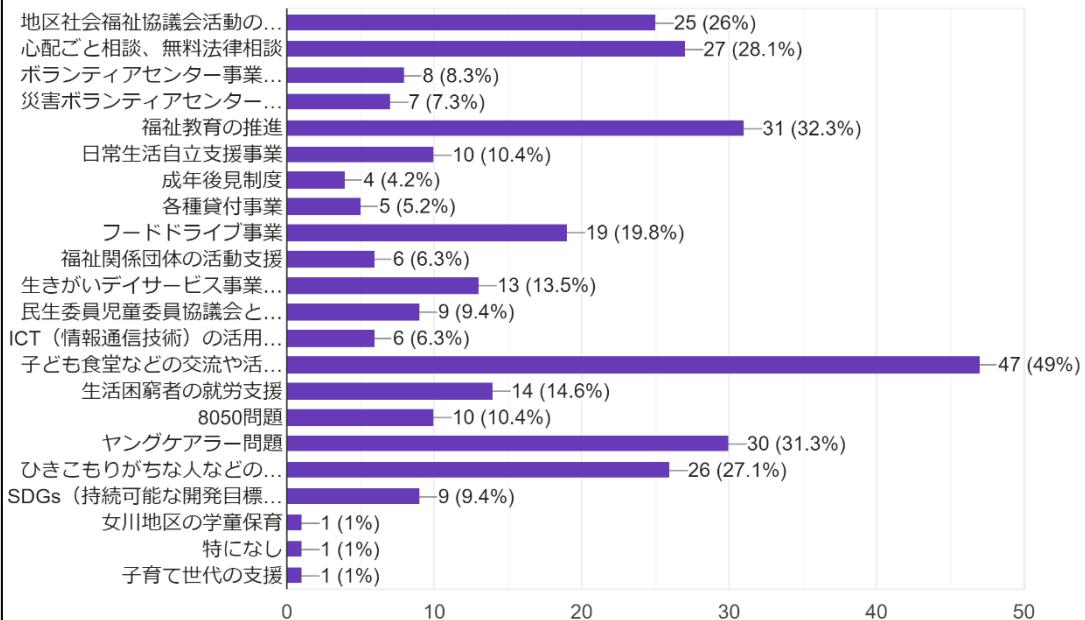


【考察】

「困りごとを抱えた人が適切な支援に繋がる体制づくり」が多かった地区社協・ボランティアのアンケートと比べて意見にバラつきがあり、様々な分野での支援と体制づくりが必要とされていることが窺える。

特に情報発信の工夫も多くみられることから、社協の相談窓口の周知とともに周知の仕方にも工夫が必要である。

問16 町社会福祉協議会がおこなう活動・支援で充...しいことを教えてください。 (5つまで選択)
96件の回答



【考察】

子ども食堂や福祉教育、ヤングケアラー問題等、子どもに関しての支援の充実を求める項目が多く回答された。

相談の場や交流の場を求める声が多くあり、子どもに関しての福祉的な教育、ふれあいの場を要望する傾向があることが窺える。

問 17 地域福祉についてあなたのご意見を自由にお書きください。(記述式)

～自由記述 31 件のため省略～

【考察】

意見の中でも特に自分が困っていることを訴える記載が多く、情報交換の場の少なさやコロナ禍による行事の減少に苦慮している旨の意見が多くみられた。

つながるきっかけが求められており、つながり続けることによる日常的な変化に気づくことのできる仕組みづくりを強化する必要がある。